

## 図書館員のひみつの本棚 第164回

今月は映画化もされた話題作のご紹介です。

### 『ワンダー』

R. J. パラシオ／作 中井 はるの／訳 ほるぷ出版  
2015年 1500円（税抜）

#### <お勧め年齢>

乳幼児—— 低学年—— 中学年—— 高学年☆☆☆ 中学生☆☆☆  
高校☆☆ 一般☆  
(☆が多い年齢の子どもにお勧めです。)

#### <本の紹介>

あらゆる遺伝的な問題が重なって、27回の手術を受けても他の人と同じような顔にはなれなかった10歳の少年オーガスト。そんな彼が始めて学校に通うことになったところから物語が始まる。

頭脳は明晰、性格も魅力的な彼は、自分が学校でどんな目にあうか想像できたし、一方学校に通った方がいいことも理解していた。

学校生活は彼の心配をよそに順調だったが、ある日、親友だと思っていたジャックがいじめっ子たちと自分の顔についての悪口を話しているのを偶然聞いてしまう。

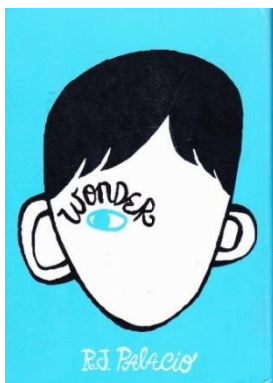
ここから後の物語は、語り手が変わり、オーガストの姉、女友達のサリー、そして裏切り者のジャックの視点から続きが語られる。

ジャックが語る物語の続きとは…。

#### <子どもに手渡す時のポイント>

各章ごとに語り手が変わること、ストーリーに奥行きがでて読みやすいと感じる子どももいれば、視点がどんどん変わっていくので、読みにくいと感じる子もいるかもしれません。紹介する際はこのような構成についても説明しておく、途中でつまずきにくくなると思います。

登場人物が全員魅力的で、読後感も爽やかな物語です。見た目の分厚さ(420ページ以上)から、手に取りづらくなっている面もあると思います。ぜひ、おすすめしてみてください。



このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店に置いてあります。ぜひ手にとってみてください。